

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

藤枝市における安全・安心・快適な住環境の創出(地域住宅計画(防災・安全))  
計画期間:平成22~27年

平成28年5月

静岡県 藤枝市

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）（藤枝市・事後評価）

計画の名称	1 藤枝市における安全・安心・快適な住環境の創出（地域住宅計画(防災・安全)）																
計画の期間	平成22年度～平成27年度（6年間）					交付対象	藤枝市										
計画の目標	『公共建築物の住環境の改善、民間の住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を図ることにより、安全・安心・快適な、住まいを実現する。』																
計画の成果目標（定量的指標）																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>藤枝市における耐震性が確保された住宅の割合を上げる</li> <li>藤枝市における狭あい道路の整備延長数の増加</li> </ul>																	
定量的指標の定義及び算定式																	
										定量的指標の現況値及び目標値		備考					
										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	※中間目標は任意				
住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)										81.0%		90%					
事業の実施状況をもとに算出する。 (狭あい道路整備延長) (m)										958m	1,158m	1,258m					
全体事業費	合計 (A+B+C)	474百万円	A	377百万円	B	0百万円	C	97百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		20.5%						
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)		事業内容・規模等	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考			
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
A1 基幹事業(地域住宅計画に基づく事業)																	
1-A1-2	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/個人	公営住宅等ストック総合改善事業		ストック総合改善整備							153		
1-A1-4	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/個人	住宅地区改良事業		改良住宅ストック総合改善整備							10		
A2 基幹事業(地域住宅計画に基づく事業以外の事業)																	
1-A2-1	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/個人	住宅・建築物安全ストック形成事業		耐震診断及び改修等、アスベスト分析調査・除去等、危険住宅の移転・市内全域							175	事業費の補償を修正。各事業の実績、要望に合わせて修正	
1-A2-2	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業		狭あい道路の拡幅等・市内全域							39		
										合計			377				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
番号 一体的に実施することにより期待される効果												合計			0		
備考																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-3	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	木造住宅耐震補強助成事業	木造住宅の耐震補強助成	藤枝市							61	H26実績に修正
1-C-4	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	ブロック塀等の安全対策事業	ブロック塀等の除去、改善	藤枝市							3	H26実績に修正、H27要望に合わせて修正
1-C-5	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	安全な建築物創出事業	アスベスト含有建材(吹付け以外)の除去	藤枝市							33	
										合計			97				
番号 一体的に実施することにより期待される効果																	
1-C-3	民間木造住宅の耐震対策の実施による安心な居住環境の実現																
1-C-4	地震発生時に倒壊又は転倒の危険性のあるブロック塀等の安全対策を実施する																
1-C-5	公共建築物のアスベスト含有建材の除去等の実施による安全な生活環境の実現																
その他関連する事業(社会資本整備総合交付金)																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)		事業内容・規模等	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考				
										H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1-A' 1-1	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/個人	公営住宅等整備事業									24		
1-A' 1-5	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/個人	公営住宅等ストック総合改善事業									60		
1-A' 1-6	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/個人	住宅地区改良事業									23	通常分	
1-A' 1-3	住宅	一般	藤枝市	直/間	市/個人	公的賃貸住宅家賃低廉化事業									19		
1-C' -1	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	移転等助成事業									4		
1-C' -2	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	安全な居住環境創出事業									17		
										合計			147				
A'	126	B'	0百万円	C'	21百万円	(C+C')		(A+A'+C+C')				19.0%					

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）（藤枝市・事後評価）

事後評価

○事後評価の実施体制	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
藤枝市都市建設部で実施	平成28年度
	公表の方法
	藤枝市ホームページ

1. 事業交換お発現状況、目標値の達成状況

①定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		計画期間内において木造住宅耐震化助成により市内1,1677戸の住宅の耐震化がなされ、狭あい道路整備を延長距離として348m実施したことにより、安全・安心・快適な、住まいが促進された。				
②定量的指標の達成状況	①住宅の耐震化率	最終目標値	90.0%	目標値と実績値に差が生じた要因	耐震化の必要性については啓発活動により周知しているが、リーマンショック以降の不況及び増税、住宅所有者の高齢化、経済的な理由等により、建て替えを含む住宅耐震化が進まなかった為。目標に届かなかった。	
		最終実績値	84.5%			
	②狭あい道路の整備延長	最終目標値	1,258m	目標値と実績値に差が生じた要因		パンフレット配布を行う等の事業周知に努めたことで、申込者が見込みより増加した為、目標の達成ができた。
		最終実績値	1,419m			
	最終目標値	-	目標値と実績値に差が生じた要因			
	最終実績値	-				
③定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記載)		特になし。				

2. 改善措置等の検討

①今後の事後評価の必要性	—
②改善措置の必要性	住宅の耐震化率の向上が図られるよう、耐震改修の必要性についての説明を戸別訪問等の啓発活動により引き続き実施する。

3. 同種事業へのフィードバック

①同種事業の計画・調査のあり方や 事業評価手法の見直しの必要性	—
------------------------------------	---

4. 特記事項（今後の方針等）

①今後の方針	次期整備計画を作成し、依然として耐震化されていない住宅の耐震化及び狭あい道路の拡幅整備促進を図る。
②部審査会 対応方針	事業効果、指標の達成状況及び今後の方針について確認し審議した結果、整備計画は概ね適正に執行されたと認める。

(参考図面) 地域住宅支援

